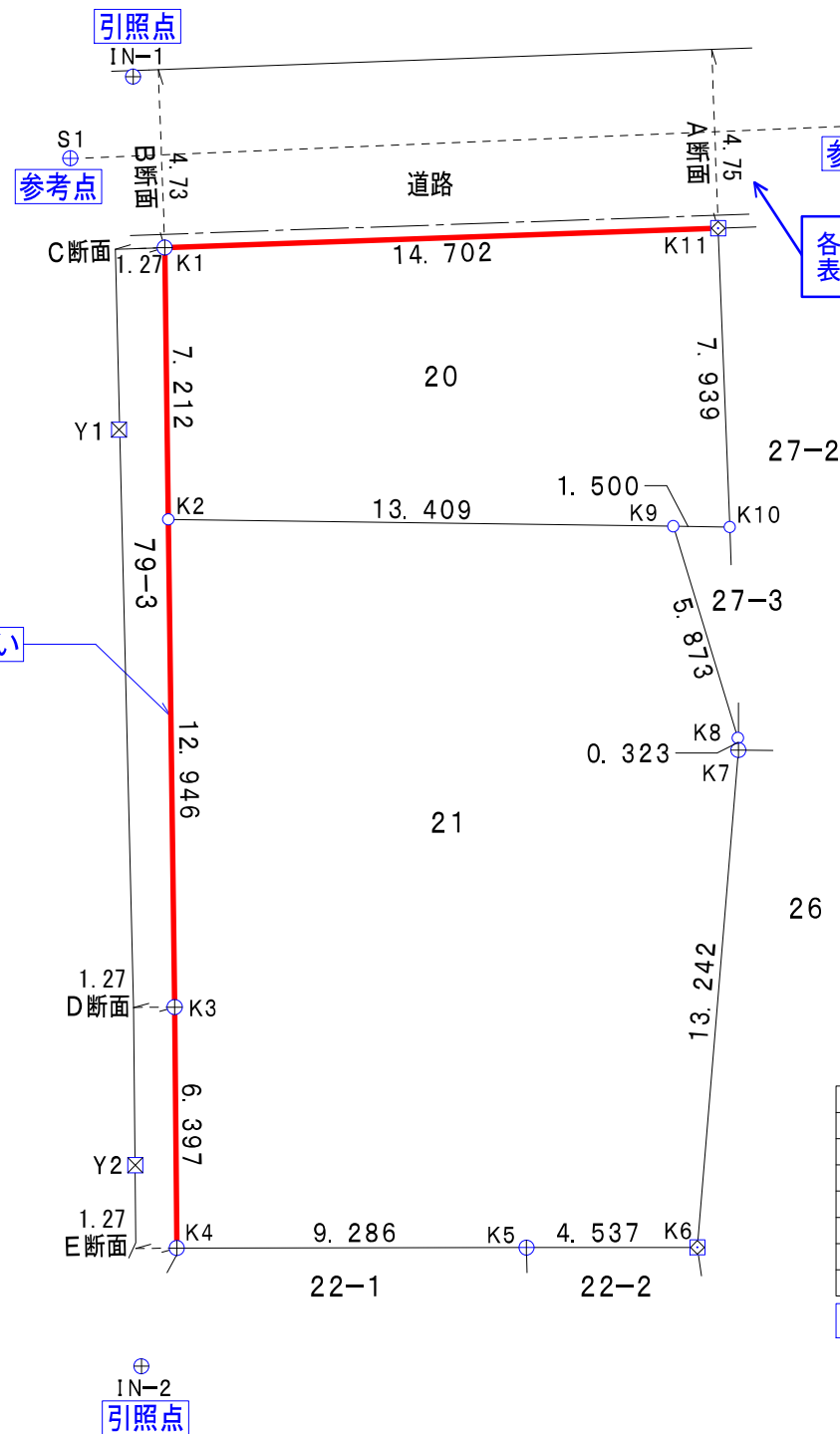
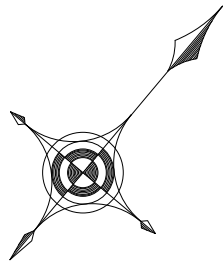


境界確認図書(作成要領)

市担当者から境界確認図書の提出の連絡が入りましたら、下記のとおり、ホチキス留めと割印をした境界確認図書(位置図、公図写し、確定図、断面図、境界標の写真、境界立会承諾書)を2部提出してください。表紙は市が作成しますので不要です。

提出書類 (下記のと通りの順番で提出して下さい)

提出書類		詳細
1	位置図	申請地を赤色で着色すること。
2	公図写し	申請箇所を赤線表示すること。(管理界は緑線)
3	確定断面図	境界の変化点毎に境界標を設置し、種別を記載すること。 (※不調となった場合、新設した境界標は撤去して下さい。) 境界復元の主旨により公共基準点とは別に引照点2点以上と、測量地全体の境界寸法及び座標求積表を表示すること。 引照点はコンクリート構造物に設置すること。 原則、世界測地系とすること。 現況道水路幅員をそれぞれ明記すること。 境界の変化点毎に断面図を作成すること。 断面図の縮尺は原則1/50程度とすること。 申請箇所の官民界は赤線、管理界は緑線にて表示すること。
4	境界標の写真	官民界の写真のみ添付すること。 境界標は民地内に設置すること。 遠景及び近景の写真を添付すること。
5	境界立会承諾書	作成者の原本証明をすること。



官民境界の確認の根拠とした点は参考点としてください

各断面の幅員を表示してください

確認した官民ラインは赤線にしてください
(管理界の場合は緑色)

境界標の種類	
	コンクリート杭
	プラスチック杭
	鉄
	刻印
	金属プレート
	計算点

杭の表示を記載してください

申請地以外の辺長及び座標値（引照点と参考点を除く）は記載しないでください

引照点は、マンホールには設置しないでください

写真

写真

写真

写真

境界標の写真（官民界のみ）を添付してください 別紙でも構いません

境界標は、民地内に設置してください

直角座標法求積表

地番	20			
NO	X _n	Y _n	Y _{n+1} - Y _{n-1}	X _n ・(Y _{n+1} - Y _{n-1})
K1				
K2				
K9				
K10				
K11				
			合計面積	
			合計地積	m ²

地番	21			
NO	X _n	Y _n	Y _{n+1} - Y _{n-1}	X _n ・(Y _{n+1} - Y _{n-1})
K2				
K3				
K4				
K5				
K6				
K7				
K8				
K9				
			合計面積	
			合計地積	m ²

確認した官民界の座標値を記載してください

引照点座標一覧表

点名	X座標	Y座標	備考
IN-1			
IN-2			

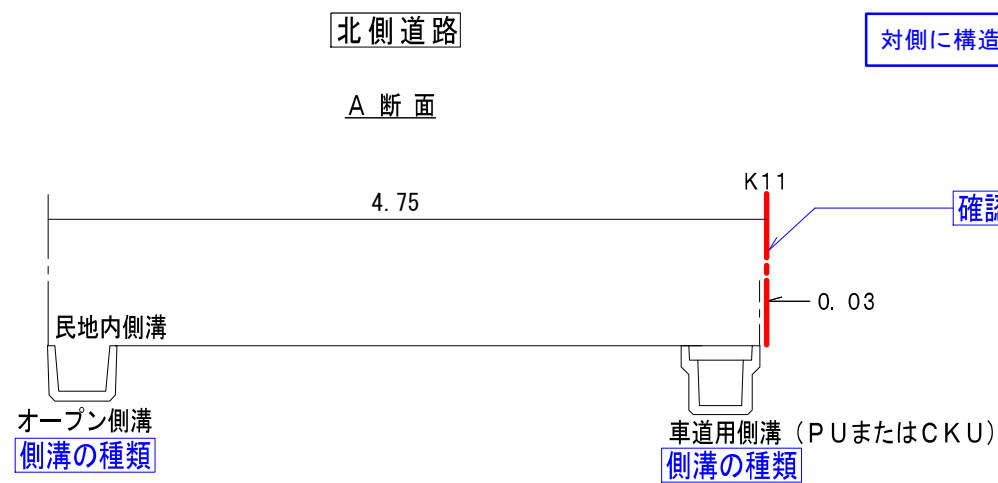
世界測地系であっても引照点の位置と座標値を記載してください。

参考点座標一覧表

点名	X座標	Y座標	備考
S1			
S2			

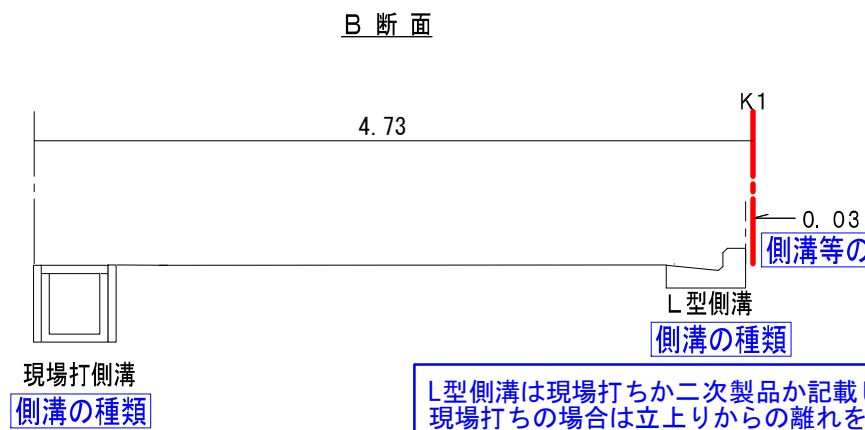
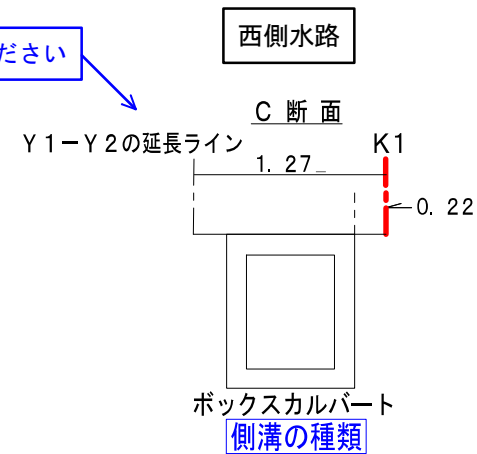
官民境界の確認の根拠とした点は参考点として位置と座標値を記載してください

所在地番	一宮市〇〇町字△△20番 21番		
図面名称	確定測量図	縮尺	1 : 250
		作成者	一宮市●●町●●丁目●●番●●号 土地家屋調査士 □ □ □ □ 職印
作成年月日	平成 年 月 日		



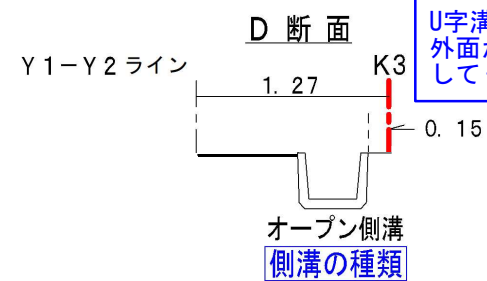
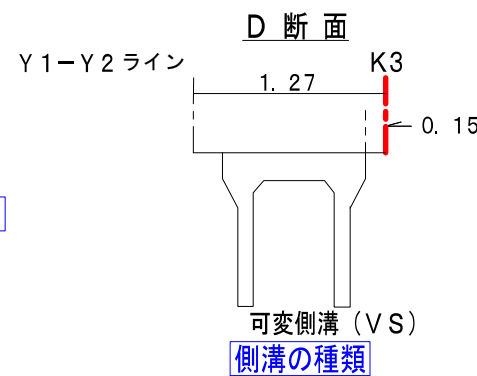
対側に構造物が無い場合、何を現況としたのか記載してください

確認した官民界は赤線としてください
(管理界の場合は緑色)



側溝等の構造物から開きがある場合は数値を記載してください

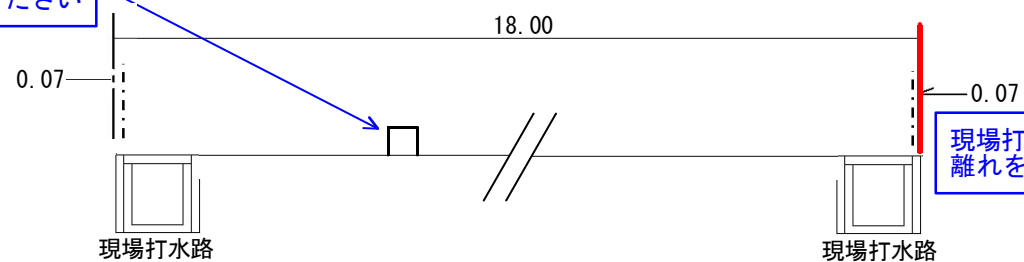
L型側溝は現場打ちか二次製品か記載してください
現場打ちの場合は立上りからの離れを記載してください



U字溝の離れは
外面から記載
してください

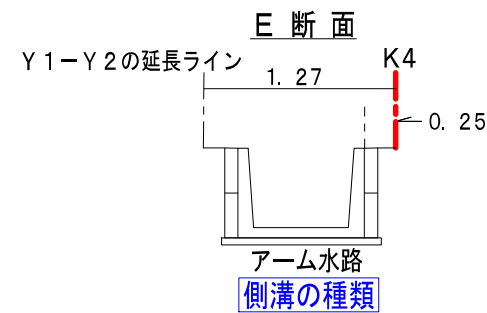
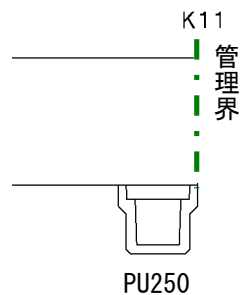
道路を構成する構造物等がある場合は記載してください

幅員が広い場合の例



現場打水路は蓋面からの
離れを記載してください

管理界の場合の例



側溝は種類又は外寸を記載してください。

縮尺は図面内で統一してください

所在地番	一宮市〇〇町字〇〇20番 21番		
図面名称	断面図	縮尺	1:50
		作成者	一宮市●●町●丁目●番●号 土地家屋調査士 □□□□ 職印
作成年月日	平成 年 月 日		